

平成29年度 第1回愛知県障害者施策審議会

相模原障害者施設での事件に対する会長発言

本題に入ります前に、津久井やまゆり園での痛ましい事件について、少しお時間をいただいて触れさせていただきたいと思います。19名のかげがえのない命が、偏った差別的考えに支配されていた一人の男性によって奪われました。私たちは、事の重大性に向き合わなければなりません。昨年、事件直後に開催されました本施策審議会で、当日欠席された小樋委員が「私たちは生きています。」とメッセージを寄せられました。これは、忘れることができない重い言葉でした。まるで、亡くなられた19名の方々に代わっておっしゃっているように、私には思われました。私たちは今こそ、人の存在の多様性を認め、改めて障害のある方の生存する権利など基本的人権を尊重し、どこで誰とどのように育ち、暮らし、生きるかは個人の自由であるとの基本理念・原則を再確認したいと思います。そして、それに立脚して、忍耐強く、かつ着実に施策を進めていく必要があると思います。本審議会はそのための本県における最も重要な審議の場であり、委員の皆様方におかれましては、今後ともよろしく願いいたします。